



2010年6月

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## 腎不全と貧血

名古屋共立病院 腎臓内科 高橋亮

### 【はじめに】

みなさんこんにちは。今日は貧血についてちょっと考えてみましょう。カリウムやリンの値だけでなく、貧血にも注意を配っていただくことで、みなさんの健康管理に少しでもお役に立てばうれしいです。



### 【貧血とはなんですか？】

貧血とは、血液中の赤血球に含まれるヘモグロビン（Hb）が少なくなった状態です。ヘモグロビンは酸素とくっついて、血液の流れに乗って体中に酸素を運ぶという大事な仕事をしていますので、これが足りなくなると息切れがしたり、動悸がしたりすることもあります。でも、貧血がゆっくりと進んだ場合には特に自覚症状がないことも多く、血液検査を行うことが大事になります。

日本人における貧血の診断基準値は、成人男性ではヘモグロビン値が13.5未満（単位はg/dl）、成人女性では11.5未満とされています。貧血をあらわす別の指標として、ヘマトクリット値（Ht：血液の中で赤血球が何パーセントくらいの容積を占めているかの目安）というものもありますが、それはそれぞれ40%未満、35%未満となっています。